

栃木市監査委員告示第18号

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による定例監査を、都市監査基準に準拠して実施したので、同条第9項の規定によりその結果を次のとおり公表いたします。

平成29年12月6日

栃木市監査委員 藤 沼 康 雄

栃木市監査委員 天 谷 浩 明

1. 監査の実施日 平成29年11月7日
平成29年11月8日
2. 監査の対象 藤岡小学校 赤麻小学校 三鴨小学校
藤岡第一中学校
西方小学校 真名子小学校 西方中学校

3. 監査の方法

平成29年9月末日までに執行された事務事業について、関係する帳簿類、証ひょう書類の提出を求め、その効率性と適法性等を照査、検討し、関係職員の説明を聴取して実施した。

4. 監査の結果

次のとおり

◎藤岡小学校

藤岡小学校は、学校教育目標を

「明るく元気なあいさつができ、優しさと向上心を持ち、自分から進んで行動できる児童の育成」

としている。

学校経営については、山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤として「調和・組織・向上・連携」に重点を置き、家庭や地域との連携・協力を図りながら、様々な活動に取り組んでいる。

主な活動としては、渡良瀬遊水地での自然観察や湿地資料館の見学、渡良瀬川の源流である足尾への社会科見学など、学年の発達段階に合わせた授業や行事を行っている。また、とちぎ未来アシストネットにおいても、地域や家庭の協力を得て全校で取り組み、その成果を上げている。

学校管理費については、予算現額 2,947,000 円に対し、支出負担行為額 1,377,082 円で 46.7%の執行率である。

その主なものは、事務用品、授業用品等の消耗品、児童用机椅子等の庁用器具費、燃料費である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていたが、通帳出納簿において不備な点が見受けられたので不鮮明にならないよう出納簿を整理するよう指導した。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎赤麻小学校

赤麻小学校は、学校教育目標を

「ふるさとを愛し、自ら考え、共に学び、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」

としている。

目指す児童像を「あかるい子 かしこい子 たくましい子」として、人を大切にする力、考えを持つ力と表現する力、チャレンジし自ら動く力の育成に取り組んでいる。

また、安全・安心と信頼に満ちた「地域に生き地域とともにある学校」づくりをすすめるため、とちぎ未来アシストネットの活用、渡良瀬遊水地を活用したふるさと学習の充実、保護者や地域と一体になった学校行事等を積極的に実施している。

学校管理費については、予算現額 2,444,000 円に対し、支出負担行為額 1,365,716 円で 55.9%の執行率である。

その主なものは、事務用品、器具購入費、暖房用燃料費、学校行

事用消耗品である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は、概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎三鴨小学校

三鴨小学校は、学校教育目標を、

「知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもち、主体的に学び、
生き生きと活動する児童の育成」

としている。

学校経営については、「やさしい子・かしこい子・たくましい子」の育成を目指し、

- ・「喜び合い、学び合い、励まし合い」の推進
- ・小中一貫教育の充実「地域と共に未来を切り開く児童生徒」
- ・幼・保・小の連携交流の推進
- ・地域とともにある学校づくりの推進

という基本方針のもと、認め・ほめ・励ます教育を推進している。

また、平成29年度は「つながりのある学びの展開」を学校課題として、子どもたちが主体的に活動できる授業にも努めている。

学校管理費については、予算現額 2,523,000 円に対し、支出負担行為額 1,486,812 円で 58.9%の執行率である。

その主なものは、教材やコピー用紙等の消耗品、逆上がり補助板等の器具購入費、暖房用灯油、学校行事負担金である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎藤岡第一中学校

藤岡第一中学校は、学校教育目標を

「考える生徒 やりぬく生徒 助け合う生徒」

としている。

目指す学校像を

「生き生きと学び合う学校」

- ・力を合わせて頑張る学校
- ・明るい学校
- ・美しい学校

として、「教師と生徒、生徒同士、教師同士、学校と保護者や地域の方々との信頼関係の構築」「生徒一人一人の自己有用感の育成や

望ましい人間関係の構築」「望ましい生活習慣の育成や豊かな心づくり」に努めている。

また、平成26年度より3年間市の指定を受け、学力向上研究推進校として、藤岡第一中学校区の小学校と共に、一人一公開事業や小中合同研修会、ノーメディアデーなどに取り組んできた。

学校管理費については、予算現額4,447,000円に対し、支出負担行為額2,125,057円で47.8%の執行率である。

その主なものは、事務機器用消耗品、クラブ活動費、コピー機使用料、卒業記念品、燃料費である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎西方小学校

西方小学校は、学校教育目標を

「なかよく助けあう子 元気で明るい子 よく考え自ら学ぶ子」としている。

学校経営では、「元気・やる気・笑顔」をスローガンに、確かな学力、豊かな心、健康な体と安全を指導の核として全職員で学校運営に参画している。学校課題として「9年間を見通した一貫性のある道徳教育の推進」を掲げ、道徳教育推進指定校として、真名子小学校、西方中学校と共に研究、実践に努めている。また、地域とともに成長する学校づくりに努め、地域アシストネットの活用についても、町探検や野菜作りなど全学年で積極的に取り組んでいる。

学校管理費については、予算現額4,415,000円に対し、支出負担行為額1,930,451円で43.7%の執行率である。

その主なものは、消耗品費、義務教育教材費、学校行事等交付金、暖房用灯油、コピー使用料である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎真名子小学校

真名子小学校は、学校教育目標を

「進んで学ぶ子 思いやりのある子 笑顔はじける元気な子」としている。

平成29年度は、目指す児童像を

「話をしっかり聞く子 友達を大切にすることを楽しむ子」

として、分かる喜びを実感する授業の充実、思いやりの心を育む教育活動の充実、健康・安全に努める態度の育成に努めている。

また、小規模特認校としての良さを生かし、真名子小学校を「魅力ある美しい小学校」とするため、夏休みの「学校に泊まろう」や小中一貫の道徳教育の研究、地域の専門的な方や名人の指導が受けられるふるさと交流会など、地域の人材を生かした取り組みを積極的に実施し、地域や保護者との連携を図っている。

学校管理費については、予算現額 1,922,000 円に対し、支出負担行為額 1,103,879 円で 57.4%の執行率である。

その主なものは、コピー用紙代等の消耗品、運動会用優勝旗、コピー使用料、暖房用灯油である。

予算の執行については、適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

また、学校施設の管理及び備品の保管状況は良好であった。

◎西方中学校

西方中学校は、学校教育目標を

「自主 敬愛 剛健」

としている。

学校経営においては、「健康で豊かな心を持ち、学ぶ意欲と自ら考え主体的に判断し行動できる力を身に付け、社会に貢献する人間を育成する」ことを基本目標として、確かな学力づくり、豊かな心づくり、健やかな体づくりを目指した学習指導の工夫改善、心を耕す生徒指導支援の実践、給食指導を核とした食育の推進などに努めている。

平成28年度からは、道徳教育推進研究校として西方小学校、真名子小学校とともに9年間の指導計画を基にした小中一貫の道徳教育にも取り組んでいる。また、地域との関わりも強く、学校ボランティアやとちぎ未来アシストネットなど地域や保護者との良好な連携が図られている。

学校管理費については、予算現額 3,190,000 円に対し、支出負担行為額 1,734,266 円で 54.4%の執行率である。

その主なものは、コピー用紙、学校行事等消耗品、義務教育教材費、コピー使用料、クラブ活動費である。

予算の執行については適正であり、その関係する帳簿、書類等は概ね適正に処理されていた。

学校施設の管理及び備品の保管状況は概ね良好であった。